

3. 菅 桂太 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 結婚、出産と妻の就業：第5回全国家庭動向調査(2013年)の結果
4. 鈴木 透 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 地域別人口推計と世帯推計の統合の可能性
5. 原 俊彦 (札幌市立大学)..... 北海道の人口動態 2015年：高齢者の移動と外国人居住者の影響
6. 林 玲子 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 高齢者の移動—施設人口に注目して
7. 清水昌人 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 市区町村における外国人の転入超過と日本人の転出超過

(清水昌人 記)

台湾における低出産・高齢化と政策的対応に関する資料収集

厚生労働科学研究費による研究事業「東アジア，ASEAN 諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究」の一環として、筆者が11月22日～26日にかけて台湾を訪問、専門家との面談と資料収集を行った。面談した専門家は、楊靜利教授(国立中山大学)、陳玉華教授・林明仁教授・薛承泰教授(国立台湾大学)、楊文山博士・于若蓉博士・蔡明璋博士・林季平博士(中央研究院)等である。楊靜利教授は現在台湾人口学会会長であり、日本人口学会との間の連絡を密にすることを確認した。林季平博士とは、12月の国際セミナーに関する打ち合わせを行った。(鈴木 透 記)

第31回日本国際保健医療学会

2016年12月3・4日に、福岡県久留米市の久留米シティプラザで、「民間から発信する国際保健医療」をテーマに、第31回日本国際保健医療学会学術大会が開催された。持続可能な開発目標 SDGs が国連で採択されて1年になり、その評価や民間企業における取組が議論された他、通常国際協力の枠を超えた、日本の医療の国際展開やグローバルヘルス人材育成戦略、熊本地震災災害支援や海外渡航者の予防対策などをテーマとしてシンポジウム・セミナーが開催された。アジア・アフリカからの参加者も多く、合計で17のシンポジウム・セミナー、103題の口演・ポスター発表が行われた。

筆者は「実施1年を迎えるSDGs-その課題と展望」と題するシンポジウムで、『「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に資する人口エビデンス・ベース-人口登録と動態統計(CRVS)整備の現状』と題する報告、「グローバルエイジング」自由集会にて『高齢化と障害率アフリカ19ヵ国を含む世界各国の動向』という報告を行った。(林 玲子 記)

「高齢化する東アジア諸国における国内・国際人口移動」国際セミナー

厚生労働科学研究費補助金「東アジア，ASEAN 諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究」では、以下の通り国際セミナーを開催した。

題目：“Domestic and International Migration in Eastern Asian Aging Countries”

日時：2016年12月16日(金) 13:30～17:00

場所：国立社会保障・人口問題研究所第4・5会議室